

泌尿器科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] ハイリスク生体腎移植における抗体除去効率および安全性の向上のための至適血漿分離膜の研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 岩見 大基（泌尿器科・講師）

[研究の目的] ABO 血液型不適合およびドナーHLA 抗体陽性の生体腎移植の術前抗体除去療法として二重濾過血漿交換（DFPP）を行う患者さんに対し、従来型 DFPP よりも穴の小さな一次分離膜を使用した DFPP がどのくらい安全に効率よく行えるのかを比較検討することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

当院で生体腎移植を行った患者さんで術前に従来型の二重濾過血漿交換（DFPP）を行った患者さんを対象とします

○利用するカルテ情報

原疾患名、年齢、性別、既往歴など腎移植に関わる臨床情報、血液検査所見、血漿交換および DFPP の設定パラメータ、従来型 DFPP の各治療条件（治療時間、血液流量、血漿流量、置換液量（濃度を含む）、置換液流量、廃液流量、抗凝固剤の種類、抗凝固剤の投与速度、治療中の活性化凝固時間）、従来型 DFPP での抗体除去療法前後の各パラメータの変化量・除去率（血清総蛋白、アルブミン、免疫グロブリン IgG 値、IgM 値、IgA 値、フィブリノゲン、ヘマトクリット、抗血液型抗体価、抗ドナーHLA 抗体の DFPP 前後の濃度から算出）、抗体関連型拒絶反応の有無、抗体除去療法に関連した有害事象

[研究実施期間] 実施許可日～2018年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 岩見 大基

電話 011-716-1161

FAX 011-706-7853